



題字 井口 文章
再刊 第278号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2018

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面…今週水曜日は生徒会役員選挙
合唱祭、クラス曲発表される
二面…今期の生徒会を振り返る
小平市内でスタンブライリー実施!



職員室前にカボチャを飾る!(ESS部作成)

新たな生徒会の立候補者ぞろぞろ

今年度は全員信任投票

次世代の錦城を引っ張っていく生徒を選ぶ生徒会役員選挙が、11月7日(水)に行われる。そこに出馬する立候補者がついに確定した。今年度は全ての役職が信任投票となる。今回の取材で見えた立候補者が胸に秘めている選挙に対する思いの数々を紹介する。

生徒会長候補
松本千冬くん(2C)

今期の生徒会で副会長を務めていた松本くんは今回、生徒会長に立候補した。今期副会長を務めた経験から立候補したそう。



「校則を見直して楽しい学校にします」

「自分を1文字で表すと何になるか」という質問に松本くんは去年と同じく「変」を選んだ。「自分が去年と比べて少し変わった」という意味です」と笑顔で語る。

生徒会副会長候補
橋本太朗くん(1L)

「学校をより良くしたいという気持ちがあるなら、自分がそういう立場に立つのが一番の近道」と立候補の理由を語る橋本くん。中学時代も生徒会に立候補したことがあるという。



「意見箱の改善を目指します」

「所属している部活は弓道部。最も記憶に残っていること」

「学校をより良くしたいという気持ちがあるなら、自分がそういう立場に立つのが一番の近道」と立候補の理由を語る橋本くん。中学時代も生徒会に立候補したことがあるという。

所属している部活は弓道部。最も記憶に残っていること

錦城祭実行委員長候補
森彩葉さん(1M)

森さんは今期錦城祭実行委員として本部に携わり、運営の楽しさやルール見直しの必要性を感じたため、錦城祭実行委員長に立候補したという。

現在、弓道部に所属しているという森さん。週活動数が少ない部活なので委員会との両立もできると思っています



「他の委員と協力して仕事していきたいです」

監督委員長候補
勝木直人くん(2F)

現在HR委員を務めている勝木くん。中学時代は生徒会に所属していなかったものの、3年間学級委員を務めていたという勝木くんは今回監督委員長に立候補した。現在部活はギター同好会に所属しており、趣味はギターとランニングだという。



「他の委員と協力して仕事していきたいです」

勝木くんは元々、生徒会活動に興味を持っていて、入学から後押しもあって立候補しました」と話す。また勝木くんは監督委員を務めた経験がないため、まずは監督や会計、予算管理などの監督委員としての仕事内容から勉強したいという。

最後に勝木くんは「副委員長とコミュニケーションをとる仕事を全うしたいです」と話した。

3年生、運動会で最後の思い出作り

10月24日(水)のLHRにてタイミングを計り気持ちを3年生による運動会がグラウンドで行われ、各クラスから白熱した競技となった。



クラス全員で息を合わせて大縄を跳ぶ3L

2つの競技が終わり、総合1位は3E、2位は3H、3位は3Kだった。

選んだという。二見彩世さん(3E)と2人で中心となり企画や運営をしたという深澤さん。進行台本を作ったり当日の集計を行ったりしたそう。

岡崎くんは立候補のきっかけを「部活の先輩が監督委員をえたら幸いです」と笑顔で締めくくった。

「お金を行き先を可視化します」

「今年の変更点は？」

「むらさき草」

競技は大縄から。開始前の1分間の練習ではなかなか息が合わず、1回も跳べないクラスが多かった。迎えた本番では、どのクラスも声をかけ

う話が出ました」ときつかけを話す。運動会開催の賛否を問うアンケートの結果、開催することに賛成だった。競技は50分という時間に収まるもや準備がしやすいものを

深澤さんは運動会を振り返り、とにかく運営することに必死だったと話す。「みなさんの思いのこもったことになってくれば良かったです」と笑顔で話した。

現在所属しているワンダーフォーゲル部での活動では、山を登り終わったときの山頂から見える景色がとっても印象的だったと振り返る。

「選管からのお願い」

1人の有権者として自分の意見を生徒会に反映させるために、きちんとした用紙の記入をお願いします。

選挙管理委員長の豊田くん(2D)

「むらさき草」

合唱祭、各クラスの自由曲決定！

順番	クラス	曲
1	1-E	言葉にすれば
2	1-G	愛を込めて花束を
3	1-A	二十億光年の孤独
4	1-I	なんでもないや
5	1-D	結
6	1-M	サヨナラの意味
7	1-F	小さな恋のうた
8	1-L	Over Drive
9	1-K	IN TERRA PAX
10	1-J	プレゼント
11	1-H	愛唄
12	1-C	残酷な天使のテーゼ
13	1-B	ヒカリ
14	2-D	黒い瞳
15	2-A	サイレントマジョリティー
16	2-G	ヒカリへ
17	2-H	蕾
18	2-B	明日に渡れ
19	2-K	HANABI
20	2-L	虹
21	2-E	RAIN
22	2-F	奏
23	2-I	瞬き
24	2-C	証
25	2-J	Lemon

10月23日(火)に視聴覚室Aで合唱祭実行委員会が行われた。各クラスが歌う曲が発表され、本番の歌う順番決めや今後の練習についての説明もされた。

今年度の各クラスの選曲について、中島さんは「去年はメロレーを一曲を丁寧な歌にしたいクラスが多いんだと思います」と話す。今年の合唱祭では新しい審査項目にもより平等な採点ができるようにと追加する予定です。

「感動点」が導入されるようにしたいと思います」と期待を語った。今年度の合唱祭テーマである「躍」が、今年度は感動点、表現点、技術点、ステージマナーを審査項目にするという。

次期に繋げる取り組みと課題

生徒会が今期の活動を振り返る

次の生徒会選挙を間近に控えた10月31日(水)、現生徒会会長の村本夏望さん(3L)、副会長の松本千冬くん(2J)、錦城祭実行委員長の近藤惟さん(2I)、監査委員長の小嶋祐輝くん(3L)、監査副委員長の小林俊介くん(2E)の5人に、英会話教室2で今期の活動を振り返ってもらった。今期の活動の中で達成できたことや浮き彫りになった問題点、そして来期の生徒会に望むことなどを5人は話し合った。

スクバをめぐる地道な努力

2017年10月末、意図的に投函されていた「勝手」に自分のリュックを使っている人がいる。直らないのであれば、学校指定のリュックサック製作に向けた努力が挙げられるだろう。この活動の始まりは2017年10月末。意見箱に投函されていた「勝手」に自分のリュックを使っている人がいる。直らないのであれば、学校指定のリュックサック製作に向けた努力が挙げられるだろう。この活動の始まりは2017年10月末。意見箱に投函されていた「勝手」に自分のリュックを使っている人がいる。直らないのであれば、学校指定のリュックサック製作に向けた努力が挙げられるだろう。この活動の始まりは2017年10月末。



1年間を振り返る5人。度々生徒の認知度や関心の低さを口にしていた

代議員会との協力関係

今期は今まであまりなかった代議員会との協力関係を大切にしよう。今までは、中央委員会の意見だけで終わってしまったことが多々ありましたが、代議員会との協力体制を作ることで第三者からの意見を取り入れることが出来た」と村本さん。今までは

意見箱に入られた主な内容
・リュックサックの使用許可
・壊れたエアコンの修理
・スマホ使用ルールの緩和
・制服のデザイン変更
・ペットボトル自動販売機の設置

意見箱は「現状ここが悪いからこうして欲しい」という書き方をしてほしいと生徒会

表面化する食堂とゴミ問題

今期の生徒会では主要な課題の1つとして食堂・ゴミの問題を挙げた。食堂では勉強後の消しカスの不始末、器物の損壊、椅子の出し放しなどのマナーの悪さが問題になっている。また、ゴミ問題については分別がきちんとできておらず、回収する業者の方などに迷惑がかかっているのが現状だ。昔から食堂とゴミの問題はあったが、今期の生徒会はこれら2つの問題について、積極的に会報で注意を行った。しかし改善の気配はない。

認知度を上げるために

生徒会はその活動や存在が不明であるという認知度の低さを懸念している。この代で7号発行してきまして、生徒会が活動や存在が不明であるという認知度の低さを懸念している。この代で7号発行してきまして、生徒会が活動や存在が不明であるという認知度の低さを懸念している。この代で7号発行してきまして、生徒会が活動や存在が不明であるという認知度の低さを懸念している。

吹奏楽部、小平福祉園で演奏

秋空の下、演奏会

10月27日(土)、錦城から10分の小平福祉園で行われた「こすもすまつり」に吹奏楽部が出演しアンコールを含む



会場を包み込む吹奏楽部の演奏

6曲を披露した。こすもすまつりは地域の方と福祉園の交流を目的に3年前から開催されている。小平福祉園での演奏会を終えて、吹奏楽部長の朝倉慎之佑くん(2D)は「小さい子からお年寄りの方まで色々な人が楽しんでくれてよかった」と振り返る。色んな人が楽しめるように、全ての年代の吹奏楽部の演奏を「本当に素晴らしい演奏でした。観客を巻き込むようなものがありました」と喜びを語った。

吹奏楽部の演奏は多くの来場者を魅了し、会場は一体感に包まれていた。1曲目の星野源の『SUN』では、強弱のついたメロディーで聴く人の心を引き寄せる。3曲目のザン・オールスターズの『波乗り』はアップテンポで朝倉くんは「運動部の曲に合わせ会場から拍手が。最後は客席からの「アンコール!」の掛け声に応じて『風

演奏会を終えて福祉園の方は

司会と音響を務めた小平福祉園の馬場健一さんは、錦城吹奏楽部の演奏を「本当に素晴らしい演奏でした。観客を巻き込むようなものがありました」と喜びを語った。



「素晴らしい演奏で引き込まれました」

10月27日(土)、錦城から10分の小平福祉園で行われた「こすもすまつり」に吹奏楽部が出演しアンコールを含む

10月27日(土)、錦城から10分の小平福祉園で行われた「こすもすまつり」に吹奏楽部が出演しアンコールを含む

10月27日(土)、錦城から10分の小平福祉園で行われた「こすもすまつり」に吹奏楽部が出演しアンコールを含む

うものは目に見えないので変えていくことが難しい」と語る。また小林くんは「規則やマナーを守ることで出来ていない人ほどそういった注意が耳に入っていないので、呼びかけても効果が薄いのだと思ってしまう」と嘆く。



生徒会にもっと関心をもちたいと村本さん

また、バッグについての問題とゴミの問題は同時進行で取り組んでいたので「今期はバッグを優先して行っていたので来期にはゴミ問題に集中してもらいたい」と村本さんは次の生徒会への希望を口にした。

さらに意見箱に投函された意見として「ペットボトル容器の飲み物を食堂の自動販売機に入れてほしい」というのも多々あったが、ペットボトル容器がゴミ箱に入っているようなことがある現在は要望を叶えるのは難しいようだ。

五輪に向けて小平を発信!

めぐりん小平55スタンプラリー開催

2年後に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることを受け、7月24日(火)から11月4日(日)まで行われた、小平市主催の『めぐりん小平55スタンプラリー』。そこで、こだいら観光まちづくり協会企画広報室に務めていて、錦城44回生でもある北山剛さんに話を聞いた。去年からスタンプラリーは行っていたが、文化施設のみだった。今年はスタンプの設置場所を飲食店、農産物直売所、文化施設、文化プログラムの4つのカテゴリーに分け、全55か所に設置。スタンプの設置数は東京オリンピック・パラリンピックで55の競技が開催されることにちなんでいる。施設や店舗をめぐる、スタンプの他にオリジナルカードがもらえ、55枚全て集めるとトランプとして遊ぶことも。また、集めたスタンプ数に応じて抽選で東京2020公式ライセンス商品や小平の特産品などが当たり、応募者全員には参加者賞として小平オリジナルピンバッジ2つと東京2020オリンピック・パラリンピックピンバッジがもらえる。小平オリジナルピンバッジには市の特産品や観光場所が描かれており、2つをつなげると小平市の形になる仕様だ。スタンプラリーを企画しているこだいら観光まちづくり協会は、市内の人や近隣の人に小平をより好きになってもらうため活動している。スタンプラリーの他に『小平にこないか?』というガイドブックの発行や、SNS等で小平の魅力を発信しているそう。元々刷っていたパンフレット5000部が、わずか1週間で無くなってしまった。10月25日(火)時点で冊子は7000部以上無くなっており、600~700人がゴールしている。休日には家族連れが、夏休み中は子どもたちが多く参加。ピンバッジを目当てに横浜から来て参加する人もいたそう。北山さんは「オリンピックでは海外の人がたくさん来ます。小平を知ってもらうためには主催側の発信が大事なので続けていきたいです」と意気込んだ。



(左)もらえるカードは全部で55種類ある (右)スタンプを押す編集委員

ピンバッジとパンフレットを持つ北山さん

「なんか新しいのが増えている程度にしか思われていないから生徒会に対する関心の低さにつながってしまうのでしよう」と村本さんは話した。数年前の生徒会では活動内容や議題などを定時連絡放送で伝えていたがあまり効果がなかったため中止したと村本さんは「生徒会が会報をもつてほしい」と話した。現在生徒会報でのみ伝えられている。少し前に問題になっていたごみ問題や食堂マナーは生徒会報で呼びかけてもあまり効果がなかったそう。「5人の呼びかけでは1500人は変えられないんですよ」と副会長の小嶋君。生徒会に関する「もっと活動を全校生徒に認知度や関心の低さは深刻なようだ。」

今回の生徒会役員選挙に会長の松本くんは「何とかしていきたくて」と話した。今期は「何かと理由から、生徒会が打つ手がないんです」と生徒会の課題を口にした。発信力の低さという問題は、次期にも残る重い課題となった。

今年度の生徒会役員選挙に会長の松本くんは「何とかしていきたくて」と話した。今期は「何かと理由から、生徒会が打つ手がないんです」と生徒会の課題を口にした。発信力の低さという問題は、次期にも残る重い課題となった。

個性の名で愛されるトカゲ

今回紹介するトカゲは1年E組のTさんが飼っているフタアゴヒゲトカゲの「ふたご」名前。トカゲを飼っているときにTさんが考えたのが名前。トカゲ自身が深爪だったのが名前の由来だそう。出会いは約半年前に行った爬虫類のイベントだそう。「ふたご」のチャミングポイントを開いてみると「人によって砂漠にかけての様々な環境に生息している。アゴにある沢山の太いトゲのよう突起が特徴的。一見、固そうに見える身体は、実はゴムのようになめらかで、危険を感じると喉の部分を膨らませ、色は砂と同じくクリーム色で、砂漠で天敵に見つかりにくい保護色となっている。」



人を滅多に噛みません

10月2日(火)	選挙管理委員会
10月3日(水)	HS委員会
10月4日(木)	図書委員会
10月25日(木)	合唱実行委員会
10月29日(月)	HR委員会
10月31日(水)	選挙管理委員会
11月1日(木)	代議員会
11月2日(金)	合唱実行委員会

10月2日(火) 女子ソフトボール部

10月28日(日) 第37回全国選抜都予選兼第48回新人大会

1回戦勝利

大会報告

10月11~11月5